専務取締役　高津久右衛門

一期限　自四十一年一月一日至同年十月末日
一納入方法　毎一ケ月ノ計算トス

◉鐵運乙第一八九二號

乘車月日	乘車區間	列車番號	人員	手荷物數	増車數	記事
十二月廿九日	熊谷、赤羽間	五壹〇				増車用客車ハ熊谷品川間「上野」、品川米原間「新橋」、米原富山間「金澤」營業事務所ニテ手配ノコト
同	品川、米原間	五五				「ブ」1.ハ熊谷ヨリ富山マテ直通セシムヘキニ付手荷物搭載ノ上三十日山手線第七七列車ニテ新橋ニ到着スル樣回送ノコト
同	米原、富山間	參參〇	三〇五	三〇〇	ハ.6.ブ1.	
同	廿九日 荒川沖、上野間	八〇四				荒川沖上野間ハ1.増車、品川富山間ハ別ニ増車セス可成一所ニ乘車セシムル樣手配ノコト
同	日 新橋、米原間	壹參				手荷物ハ荒川沖ヨリ甲府行ノ「ブ」ニ廿八日ニ發送合併搭載シ翌新宿ニ取卸シ品川ニ回送品川ニテ第十參列車ニ積換ヘノコト
同	三十日 米原、富山間	九	五五	五五		
同	廿九日 深谷、長野間	壹〇五	四〇	三五		別ニ増車セス可成一所ニ乘車セシムル樣手配ノコト
同	日 荒川沖、日暮里間	八〇四				増車用客車ハ荒川沖新宿間「上野」、新宿甲府間新橋營業事務所ニテ手配ノコト
同	日 日暮里、新宿間	壹五二	一五二	ハ.3.ブ1.		1.ハ廿八日荒川沖ヨリ新宿ニ回送ニ付富山行ノ荷物ヲ取卸シ當日本列車ニ増結直通ノコト
同	日 新宿、甲府間	四〇七				本團体ノ内日下部ニ百十人、石和ニ十九人、甲府ニ二十三人降車
同	三十日 深谷、赤羽間	一一六				増車用客車ハ荒川沖新宿間「上野」、新宿甲府間新橋營業事務所ニテ手配ノコト
同	日 赤羽、新宿間	一一三	八五	八〇	ハ1.	1.ハ廿八日荒川沖ヨリ新宿ニ回送ニ付富山行ノ荷物ヲ取卸シ當日本列車ニ増結直通ノコト
同	日 新宿、甲府間	四〇五				本團体ノ内日下部ニ百十人、石和ニ十九人、甲府ニ二十三人降車
同	日 深谷、線ノ井、藤ノ井間	一〇一 二〇四	三五	三〇		別ニ増車セス可成一所ニ乘車セシムル樣手配ノコト
同	日 熊谷、高崎間	一〇五				増車用客車ハ上野營業事務所ニテ手配ノコト
同	日 高崎、輕井澤間	三三				手荷物ハ深谷ノ分ト共ニ一車積ミトシ廿九日發送三十日第參五列車前ニ到着スル樣手配ノコト
同	日 輕井澤、篠ノ井間	三五	三〇五	若干	ハ.4.ブ.2.	本團体ノ内上田ニ百六十人小諸ニ二十五人坂城ニ六十人松本ニ六十人降車

◉鐵運乙第一八九三號

鐵運乙第一二七八號達（四十年十月十九日公報第一七一號掲載）定期檢査施行及修繕車廻送場所ニ左ノ通追加ス

一定期檢査施行場處及修繕車廻送場處驛名欄ニ野内、神奈川、武豊、鷹取ヲ所有者名欄ニ「タイジングサン」石油會社ヲ加フ

一但書定期檢査施行場處ノ内隅田川、程谷、柏崎ノ次ニ野内、神奈川、豊武、鷹取、ノ九字ヲ加フ

運輸部一般

◉鐵運乙第一八九四號

水戸營業事務所
羽生驛

◉鐵運乙第一八九五號

中野喜三郎託送ノ羽黒驛貨物貸金（發着手數料共）ハ本年十二月二十八日ヨリ四十一年十一月末日迄後拂扱契約ス

運輸部一般

◉鐵運乙第一八九二號

同	日 篠ノ井、松本間	二〇八	六〇	六〇		前記熊谷ヨリ乘車スル團体ノ内
同	日 深谷、高崎間	一〇五				増車用ノ客車ハ上野營業事務所ニテ手配ノコト
同	日 高崎、輕井澤間	三三	二八五	二六〇	ハ.3.	手荷物ハ熊谷ノ分ニ記載ノ通リ
同	日 輕井澤、長野間	三五			ハブ2.	本團体ノ内上田ニ五十人坂城ニ三十五人屋代ニ百五十人其他各驛ニ五十人降車
同	日 深谷、赤羽間	五一〇				増車用客車ハ深谷品川間「上野」、品川米原間「新橋」、米原富山間「金澤」營業事務所ニテ手配ノコト
同	日 赤羽、品川間	五五				「ブ」1.ハ深谷ヨリ富山迄直通セシムヘキニ付手荷物搭載ノ上卅一日山手線第七七列車ニテ新橋ニ到着スル樣回送ノコト
同	日 品川、米原間	參參〇	二〇〇	一八〇	ハ.4.ブ1.	
同	三十一日 米原、富山間	五參〇				
同	日 深谷、上野間	壹壹六				増車用客車及手荷物用「ブ」ノ手配方前記ニ準ス
同	日 新橋、米原間	參參〇	一八〇	一六〇	ハ3.ブ1.	
同	一月一日 米原、富山間	五參〇				

一　當日信越線第參參、參五列車ハ臨時混合列車トシ本團体一行ニ限リ取扱フ

一　東海道線第參參列車、北陸線第五參〇列車、信越線第參參、參五列車ノ補助機關車使用方關係營業事務所ニ於テ手配スヘシ

一　當日信越線第九、シ壹〇六、貳〇參九列車ニ補助機關車ヲ使用スヘキ人員及手荷物ハ當日多少増減アルヘシ

運輸部一般

三十一年六月鐵運乙第一一二六號警察官無賃乘車證交附方達乘車區域ノ末尾ニ左ノ一項ヲ追加ス

山口縣　廣島　下關間
厚狹　大峯間

◉鐵運乙第一八九六號

新橋營業事務所
程ケ谷驛

南北石油會社託送程ケ谷發油槽車積石油運賃及發着手數料後拂ノ義ニ付左記ノ通リ承諾ス

一契約者　東京市京橋區新富町六丁目二番地
南北石油會社
專務取締役　寺田供一

一期限　自四十年十二月二十五日至四十一年十月末日
一賃金ハ毎月一日ヨリ末日迄ノ分ヲ取纏メ計算スルモノトス
適用託送人ヨリ提出スル後納貨物賃金調査ヲ添付シ調査課